

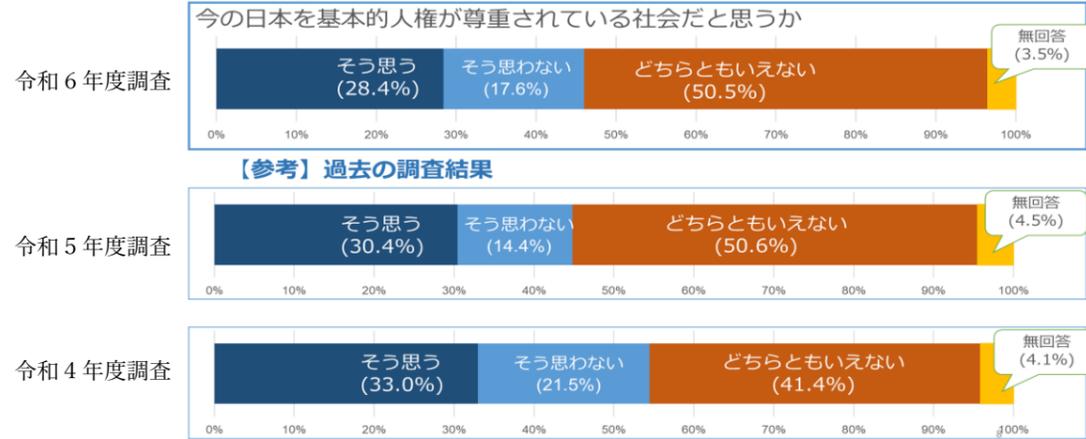
「かながわ人権施策推進指針」に基づく取組の状況について

資料1

1. 人権一般

直近のトピック

・令和6年度県民ニーズ調査結果



| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|------------|-------------|--------|------------|-------|-----------------------------------|--|---|---|
| 1 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 00 人権全般・その他 | | | 教育・啓発 | 「かながわハートフルフェスタ」の開催 | 横浜地方法務局、神奈川県人権擁護委員連合会、県等で構成する「神奈川県人権啓発活動ネットワーク協議会」等の主催により、作文コンクールの表彰・講演等、人権意識の涵養に資するイベントを開催する。 | 「ハートフルフェスタ2023inかまくら 古都鎌倉から 未来へつなげよう 人権の輪 ～安心して自分らしく暮らせるまちをともに～」を開催 ・開催日 2023年12月9日(土) ・開催地 鎌倉芸術館 小ホール | 「ハートフルフェスタ2024inよこすか 横須賀から キックオフ! ～つなげよう思いやりの心～」を開催予定 ・開催日 2024年12月7日(土) ・開催地 ヨコスカベイサイドポケット 小ホール |
| 2 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 00 人権全般・その他 | | | 教育・啓発 | 「人権メッセージ展」の開催及びメッセージパネルの貸出による人権啓発 | 企業、民間団体、市町村、県等で構成する「神奈川県人権啓発推進会議」の主催により、各界で活躍されている方々の人権メッセージの展示等を行い、その結果をとりまとめた冊子「たいせつな宝物」を作成・配布する。また、メッセージパネルを市町村等へ貸し出し、県内各地域における人権啓発活動を支援する。 | ・「第27回人権メッセージ展」を開催 (R6.2) テラスモール湘南北アトリウム ・メッセージ集「たいせつな宝物」を作成、配布 ・パネル貸出は継続実施 | ・「第28回人権メッセージ展」を開催 (R7.2) クイーンズスクエア横浜 ・メッセージ集「たいせつな宝物」を作成、配布 ※それぞれR6で終了 ・パネル貸出は継続実施 |
| 3 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 00 人権全般・その他 | | | 教育・啓発 | スポーツ組織との連携による人権啓発活動の推進 | 横浜地方法務局、神奈川県人権擁護委員連合会、県等で構成する「神奈川県人権啓発活動ネットワーク協議会」等の主催により、スポーツ組織（湘南ベルマーレ）と連携した啓発活動を行う。 | ・湘南ベルマーレホーム戦にて、スタジアム入場ゲートにおける人権啓発物品（ボールペン）配布、マッチデイプログラムへの人権啓発広告の掲載、スタジアム場外での人権啓発ブース出展を実施 ・湘南ベルマーレ選手を起用した人権啓発ポスターの配布や人権啓発動画の放映 ・横浜FCと連携した人権啓発クリアファイルを作成し、横浜FCの試合にて観客に配布した。 | ・湘南ベルマーレホーム戦にて、スタジアム入場ゲートにおける人権啓発物品（ボールペン）配布、マッチデイプログラムへの人権啓発広告の掲載、スタジアム場外での人権啓発ブース出展を実施 ・湘南ベルマーレ選手を起用した人権啓発ポスターの配布や人権啓発動画の放映 ・横浜FCと連携した人権啓発メモ帳を作成し、横浜FCの試合にて観客に配布した。 |
| 4 | 08 健医 | 精神保健福祉センター | 00 人権全般・その他 | 05 疾病等 | 13-4 孤独・孤立 | 当事者支援 | 「こころの電話相談」事業 | あらゆる場面におけるこころの健康づくりを進めるため、フリーダイヤルの電話相談を実施する。 さらに、特定相談として、アルコール依存症についての電話相談、自死遺族の電話相談、ピア電話相談を実施する。 | 相談件数 38,827件 特定相談 依存症電話相談 296件 自死遺族電話相談 193件 ピア電話相談 260件 | 相談件数 63,468件 特定相談 依存症電話相談 380件 自死遺族電話相談 172件 ピア電話相談 314件 |
| 5 | 14 議会 | 政策調査課 | 00 人権全般・その他 | | | 環境整備 | 多目的傍聴室 | 本会議の傍聴において、乳幼児連れの方、長時間椅子に座っていることが難しい事情のある方、傍聴席の階段の昇り降りが難しい方、視覚障がいなどで傍聴中に会話や説明が必要な方など、様々な方がフリースペースとして利用できる個室を提供している（令和6年5月から提供開始）。 | (令和6年度新規事業) | 令和6年第2回、3回、令和7年第1回定例会 |



出演者の
ともいきかり
ゆうとりんズ
with 葉琉歌

2. 子ども

直近のトピック

・神奈川県子ども目線の施策推進条例施行（令和7年4月1日）

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|-------------------|--------|-------|-----|-------|---|--|---|---|
| 6 | 07 福子 | 青少年課 | 01 子ども | 02 女性 | | 環境整備 | 神奈川県青少年保護育成条例に基づく青少年の健全な育成の推進 | 青少年にとって有害な社会環境の健全化を進めるため、条例に基づく取組を行う。 【取組の概要】 ①周知、啓発の実施 ②条例に基づく職員による立入調査及び指導の実施 ③条例に基づく有害興行等の指定・公示 ④青少年の環境に関する業界協議会の取組など業界の自主規制の促進 | ①関係 ・社会環境健全化推進街頭キャンペーンの実施 (1)開催日時：令和5年7月8日(土) 開催場所：武蔵小杉駅JR北口 駅前広場 参加人数：22名 (2)開催日時：令和5年7月15日(土) 開催場所：新横浜駅北口 ペDESTリアンデッキ 参加人数：23名 (3)開催日時：令和5年11月24日(金) 開催場所：新横浜駅北口 ペDESTリアンデッキ 参加人数：23名 (4)開催日時：令和5年11月28日(火) 開催場所：武蔵小杉駅JR北口 駅前広場 参加人数：22名 ・県内新中学1年生（現小学6年生）の保護者を対象に青少年のインターネット利用に係る啓発リーフレットの作成・配布(92,690部) ・県内小学1年生・中学1年生の保護者を対象に条例の啓発チラシを作成・配布(209,350部) | ①関係 ・社会環境健全化推進街頭キャンペーンの実施 (1)開催日時：令和6年7月14日(日) 開催場所：新横浜駅周辺 参加人数：21名 (2)開催日時：令和6年8月7日(水) 開催場所：武蔵小杉駅周辺 参加人数：19名 (3)開催日時：令和6年11月27日(水) 開催場所：新横浜駅周辺 参加人数：20名 (4)開催日時：令和6年12月4日(水) 開催場所：武蔵小杉駅周辺 参加人数：23名 ・県内新中学1年生（現小学6年生）の保護者を対象に青少年のインターネット利用に係る啓発リーフレットの作成・配布(100,000部) ・県内小学1年生・中学1年生の保護者を対象に条例の啓発チラシを作成・配布(209,350部) ④関係 ・店舗掲示用チラシの作成・配布 |
| 7 | 07 福子 | 青少年課・青少年センター | 01 子ども | | | 当事者支援 | 「かながわ子ども・若者総合相談センター」「神奈川県ひきこもり地域支援センター」相談等実施事業 | ひきこもり、不登校、非行等様々な悩みを有する子ども・若者やその家族に対して、関係機関やNPOと連携して相談を実施するとともに、ひきこもり等の問題に取り組むNPOの支援やフォーラム等の啓発を行う。 | 相談件数 6,544件 【内訳】 電話相談 2,702件 面接相談 延べ430件 LINE相談 3,412件 ・子ども・若者を理解するための講演会の開催(52名参加) ・地域理解促進のための講座開催(6団体実施、延べ256人参加) | 相談件数 7,131件 【内訳】 電話相談 2,996件 面接相談 延べ367件 LINE相談 3,768件 ・子ども・若者を理解するための講演会の開催(80名参加) ・地域理解促進のための講座開催(8団体実施、延べ285人参加) |
| 8 | 07 福子 | 子ども家庭課 次世代育成課 | 01 子ども | | | 環境整備 | 児童虐待防止対策の総合的な推進 | 児童虐待防止対策として、広報啓発や、市町村・地域と連携した早期発見や防止に努めるとともに、児童相談所の機能強化に資する取組みを推進する。 | ・精神科医及び小児科医を交えた医学的評価、判断、助言、カウンセリング、医療相談等の実施（各児童相談所で毎月定例で実施したほか、必要に応じ随時実施した）【子ども家庭課】 ・市町村、地域の子育て支援事業者を対象とした研修会の実施(年1回、120人参加)【次世代育成課】 ・保育所に心理士・保健師を派遣し、虐待が懸念される親子の支援について実地研修を実施(22箇所、111人参加)【次世代育成課】 ・乳児家庭全戸訪問事業・養育支援訪問事業担当者会議・情報交換会の実施(年1回、42人参加)【次世代育成課】 | ・精神科医及び小児科医を交えた医学的評価、判断、助言、カウンセリング、医療相談等の実施（各児童相談所で毎月定例で実施したほか、必要に応じ随時実施した）【子ども家庭課】 ・市町村、地域の子育て支援事業者を対象とした研修会の実施(年1回、108人参加)【次世代育成課】 ・保育所に心理士・保健師を派遣し、虐待が懸念される親子の支援について実地研修を実施(22箇所、108人参加)【次世代育成課】 ・乳児家庭全戸訪問事業・養育支援訪問事業担当者会議・情報交換会の実施(年1回、36人参加)【次世代育成課】 |
| 9 | 15 教育 | 子ども教育支援課 高校教育課 | 01 子ども | | | 教育・啓発 | 「いのちの授業」の推進  | いのちのかけがえのなさ、夢や希望をもって生きること、人への思いやり、互いに支え合って生きることの大切さなどを子どもたちに育むため、各学校において「いのちの授業」を推進する。また、「いのちの授業」の一環として「ともに生きる社会かながわ憲章」部門を設け、各公立学校（中学校・高等学校）における憲章の理念の普及に向けた取組を行う。 | ・県ホームページにおいて各学校の取組状況を公開 ・「いのちの授業」大賞作文等の募集・表彰（優秀作品の筆者とその授業者を「いのちの授業」大賞として表彰） ・「いのちの授業」概要版リーフレットの作成・配布(16,200部) | ・県ホームページにおいて各学校の取組状況を公開 ・「いのちの授業」大賞作文等の募集・表彰（優秀作品の筆者とその授業者を「いのちの授業」大賞として表彰） |

3. 女性

直近のトピック

・ かながわ困難な問題を抱える女性等支援計画策定（令和6年度～）

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|----------------|-------|--------|-----|-------|---|--|---|--|
| 10 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 02 女性 | 08 貧困等 | | 当事者支援 | 県施設での生理用品の配布 | 生理に関する女性の不安や負担の軽減とSDGsのジェンダー平等の実現に向けた機運の醸成を目的として、県施設において生理用品無料提供サービスOiTr（オイテル）を導入する。（県施設10ヶ所での生理用品配布は令和3年度のみ） 困難な問題を抱えていることに気づいていない、どこに相談したらよいか分からない等の理由で支援につがっていない女性の早期発見のため、相談窓口周知カードを生活必需品である生理用品と併せて配布する。 | 生理用品無料提供サービスOiTrの導入 ・神奈川県立青少年センター 216個/年 ・神奈川県立図書館 947個/年 | 生理用品無料提供サービスOiTrの導入 ・神奈川県立青少年センター 334個/年 ・神奈川県立図書館 1,154個/年 相談窓口周知カードと生理用品のセット かながわ男女共同参画センター、各保健福祉事務所 500個/年 |
| 11 | 07 福子 | かながわ男女共同参画センター | 02 女性 | | | 教育・啓発 | 男女共同参画実践事業 | 県内企業等の女性活躍推進を始めとするダイバーシティ&インクルージョンを推進し、性別に関わらず、すべての人が働きやすくなるよう、一緒に取組を進めていただける企業・団体（メンバーズ会員の募集や、その実務責任者等が参加し、先進的な取組事例の共有や課題解決に向けた意見交換を行うメンバーズ会議の開催、啓発講座への講師派遣、子どもミライ教室の開催など、異業種間での「取組の共有」や「実践的な議論の場」の提供、若い世代への取組等を実施する。 | ①啓発講座：実施回数2回、参加者合計604名 ②「かながわ女性の活躍応援団」を「D&Iかながわメンバーズ」として令和6年3月22日に発展的に改組・発足、キックオフイベントを実施。 ・D&Iかながわメンバーズ会員の募集 ・D&Iかながわメンバーズ会議 実施回数1回、出席者 会場18企業・団体、オンライン9企業・団体。その他、オンライン視聴者あり | ・D&Iかながわメンバーズ会員の募集 71企業・団体（令和7年3月31日時点） ・D&Iかながわメンバーズ会議 年2回開催、延べ56企業・団体（75人）参加 ・啓発講座への講師派遣 年4回実施、1,295人参加 ・子どもミライ教室 年1回開催、17人（児童・生徒9人、保護者8人）参加 ・D&Iかながわメンバーズロゴマーク公募・作成（応募作品18点） ・D&Iかながわメンバーズホームページでの情報提供 |
| 12 | 07 福子 | かながわ男女共同参画センター | 02 女性 | | | 教育・啓発 | 女性のための社会参画セミナー「かなテラスカレッジ」の開催 | 様々な意思決定の場への女性の参画を促進するため、地域や社会の課題を発見し解決するための手法を学ぶセミナーを実施する。 | 年3回 ・春期講座、5日間、24人参加 ・オンライン講座、3日間、26人参加 ・秋期講座、5日間、32人参加 | ・春期講座、5日間、26人（全日24人、各日2人）参加 ・オンライン講座、2日間、32人（全日32人）参加 ・秋期講座、5日間、29人（全日29人）参加 ・フォローアップ講座、1回、22人参加 ・キャリアカウンセリング、1回、13人参加 |
| 13 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 02 女性 | | | 当事者支援 | 不安や生活上の課題を抱える女性に対する支援の実施 「かながわ女性の不安・困りごと相談室」 | 孤独・孤立による不安や、生活上の課題を抱える女性のための相談室を設置し、電話、メール、面接による相談を受け付けるとともに、アウトリーチ（訪問支援）及び同行支援を実施する。（委託事業） | 相談件数 4,081件 （電話 2,459件、メール 1,519件、面接 103件） 訪問支援 29件 同行支援 40件 他機関連携 404件 | 相談件数 4,616件 （電話 3,115件、メール 1,398件、面接 103件） 訪問支援 8件 同行支援 52件 他機関連携 214件 |
| 14 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 02 女性 | | | 環境整備 | 「かながわDV防止・被害者支援プラン」に基づく配偶者等からの暴力総合対策の推進 | 県、市町村及び民間活動団体の協働による一時保護施設の運営や、市町村等の関係職員研修及びシェルター関係者の人材養成を行うとともに、関係機関との連携のもと、配偶者等からの暴力対策を総合的に推進する。 | ①県、市町村及び民間団体の協働による一時保護施設の運営（一時保護件数 26件） ②市町村等関係職員研修及び民間団体スタッフ研修の開催（年1回） ③被害者自立支援機関への補助の実施（対象：5団体） ④県内市町村との連携会議の開催（年1回） ⑤県内の配偶者暴力相談支援センター設置市との会議開催（年1回） | ①県、市町村及び民間団体の協働による一時保護施設の運営（一時保護件数 26件） ②市町村等関係職員研修及び民間団体スタッフ研修の開催（年1回） ③被害者自立支援機関への補助の実施（対象：5団体） ④県内市町村との連携会議の開催（年1回） ⑤県内の配偶者暴力相談支援センター設置市との会議開催（年1回） |
| 15 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 02 女性 | | | 当事者支援 | 「かながわDV相談LINE」の実施 | DV・デートDV等に悩む女性を適切な支援につなげるため、SNSを活用して専門相談員による相談を実施する。（委託事業） | 相談件数 3,197件 | 相談件数 3,629件 |
| 16 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 02 女性 | | | 当事者支援 | 配偶者暴力相談支援センターによる支援の実施 | 「配偶者暴力相談支援センター」を設置し、電話・面接相談を受け付けるとともに、必要な場合は一時保護等の支援を実施する。 | 相談件数 5,353件 （うち被害者本人による相談 4,205件） 一時保護件数 179件 | 相談件数 4,887件 （うち被害者本人による相談 3,808件） 一時保護件数 148件 |

4. 障がい者

直近のトピック

・改正障害者差別解消法施行（令和6年4月1日）

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|---------|---------|-----|-----|-------|---|---|---|--|
| 17 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 03 障がい者 | | | 当事者支援 | 「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」の普及・啓発 | 条例の理念を広く浸透し、当事者目線の障がい福祉を推進するため、県内の小学校や高校、児童・生徒等を対象に、障がい当事者を講師に、障害の理解に限らず普段の生活の様子や当事者への接し方などの講話による出前授業を実施。また、県職員、障害者団体、関係機関等を対象に、条例及び当事者目線の障害福祉の理解促進を図る研修、説明会等を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校出前講座等 17校 延べ人数 1,715名 ・研修・説明等 34回(講座、研修) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校出前講座等 20校 延べ人数 2,445名 ・研修・説明等 20回(講座、研修) |
| 18 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 03 障がい者 | | | 当事者支援 | 「当事者目線の権利擁護支援全国フォーラムin神奈川」を開催 | 神奈川県が、当事者目線の障がい福祉の実現を目指していく姿勢を全国に示すとともに、全国の動きも神奈川県から発信していくことで、神奈川を地域共生社会のスターティングポイントとすることを目指して実施 | <p>県と全国権利擁護ネットワークの両主催により令和6年2月3日、4日に下記プログラムを実施。</p> <p>1日目パネルディスカッション「神奈川の新しいチャレンジ」 2日目アドボカシーオブザイヤー表彰式、パネルディスカッション「地域共生社会の実現に向けて～中核機関と地域福祉～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場参加のみならず、YouTubeLiveによるライブ配信。開催後には、かなチャンネルにて動画のアーカイブ配信を実施。 ・2月3日 会場参加者数 236 オンライン配信視聴数 278 ・2月4日 会場参加者数 179 オンライン配信視聴数 179 | <p>県と全国権利擁護ネットワークの両主催により令和7年1月25日、26日に下記プログラムを実施。</p> <p>1日目パネルディスカッション「社会的排除と権利擁護支援」 2日目アドボカシーオブザイヤー表彰式、パネルディスカッション「共生社会に向けた地域づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場参加のみならず、YouTubeLiveによるライブ配信。開催後には、かなチャンネルにて動画のアーカイブ配信を実施。 ・1月25日 会場参加者数 205 オンライン配信視聴数 133 ・1月26日 会場参加者数 159 オンライン配信視聴数 120 |
| 19 | 07 福子 | 障害福祉課 | 03 障がい者 | | | 環境整備 | 障がい者差別解消のための取組みの推進 | 障害者差別解消法に基づき、「神奈川県障害者差別解消支援地域協議会」を設置するとともに、障がい者差別に特化した相談窓口を設置するなど、障がい者の差別解消の取組みを総合的に推進する。 | R5.5.1より委託事業開始 相談受付件数 83件 協議会の開催（1回） 庁内職員向け研修の実施（8回） | 令和6年度の相談件数101件。 神奈川県障害者差別解消支援地域協議会（2回開催） 新採用職員研修、新任管理職研修、専門職研修において、障害者差別解消法について説明実施。 |
| 20 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 03 障がい者 | | | 教育・啓発 | ともに生きる社会かながわ憲章の普及啓発事業 | 平成28年7月26日に障害者支援施設である県立「津久井やまゆり園」で大変痛ましい事件が発生した。このような事件が二度と繰り返されないよう、県議会とともに策定した「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念や趣旨を普及啓発する。 | <p>○津久井やまゆり園事件が発生した7月26日を含む「ともに生きる社会かながわ推進週間」に、交通広告や地域情報誌を活用した集中的な広報を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内全エリアの「タウンニュース」に広告・関連記事掲載 ・市町村庁舎、施設、県内主要駅等でのポスター掲示、チラシ配布（ポスター約1,000枚、チラシ約10,000枚、ポストカード5,000枚） ○「ともに生きる社会かながわ推進週間」以降、憲章策定日の10月14日までの期間及び障害者週間（令和5年12月3日～12月9日）を憲章普及の集中取組期間として、アナログ媒体を中心とした広報を展開した。 ・駅、各施設（医療機関、金融機関、商業施設等）、自治会掲示板等でのポスター掲示（約5,000枚） ○ポータルサイトにおいて、イベント主催者と障害サービス事業所などのブース出展者のマッチングを行った。 ・マッチング件数：15件 ○庁内、企業、団体、大学等との連携による憲章の理念の普及 ・障害福祉サービス事業所と連携した憲章Tシャツの販売 ・令和5年12月17日「共生社会実践セミナー」（大学連携）を県庁大会議場にて開催（参加者85名） | <p>○津久井やまゆり園事件が発生した7月26日を含む「ともに生きる社会かながわ推進週間」に交通広告や地域情報誌を活用した集中的な広報を実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内全エリアの「タウンニュース」に、著名人と連携した広告・関連記事を掲載 ・市町村庁舎、施設、県内主要駅等でのポスター掲示、チラシ配布（ポスター約1,000枚、チラシ約50,000枚、ポストカード13,000枚） ・県立高校でのフレーム入りポスター掲示（134校） ○「ともに生きる社会かながわ推進週間」以降、憲章策定日の10月14日までの期間及び障害者週間（令和6年12月3日～12月9日）を憲章普及の集中取組期間として、アナログ媒体を中心とした広報を展開予定 ・駅、各施設（医療機関、金融機関、商業施設等）、自治会掲示板等でのポスター掲示（約5,000枚） ○ポータルサイトにおいて、イベント主催者と障害サービス事業所などのブース出展者のマッチングを実施 ○庁内、企業、団体、大学等との連携による憲章の理念の普及 ・地域のイベントとの連携によるチラシ、グッズ配布等の憲章PR ・障害福祉サービス事業所と連携した憲章Tシャツの販売 ・共生社会実践セミナー（大学連携）を県庁大会議場にて開催（参加者97名） |
| 21 | 09 産労 | 雇用労政課 | 03 障がい者 | | | 当事者支援 | 障がい者の雇用と職場定着の促進 | 障がい者の雇用と職場定着を促進するため、中小企業への個別訪問や出前講座のほか、企業や障がい者就労支援機関を対象とした研修等を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業への個別訪問や出前講座の実施（個別訪問：873社、出前講座：41回） ・障害者雇用促進に向けたフォーラム（回数：1回、参加人数：399人） ・企業交流会（回数：5回、参加者数150人） ・精神障がい者雇用・職場定着支援セミナー（回数：2回、参加者数：177人） ・精神障害者職場指導員設置補助金（交付事業者：13事業者） ・特例子会社・特定組合等設立支援補助金（交付事業者：0） ・障がい者就労支援力向上研修（回数：8回、参加者数：396人） | <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業への個別訪問や企業のニーズに合わせた出前講座（個別訪問：844社、出前講座：41回） ・障害者雇用促進に向けたフォーラム（回数：1回、参加人数：411人） ・企業交流会（回数：5回、参加者数181人） ・精神障がい者雇用・職場定着支援セミナー（回数：2回、参加者数：252人） ・精神障害者職場指導員設置補助金（交付事業者：10事業者） ・障がい者就労支援力向上研修（回数：8回、参加者数：277人）等 ・県公式LINE「かながわ障がい者就労サポートシステム」をリリース（令和7年3月27日） ・精神障害者職場指導員設置補助金の要件について、所定労働時間を「20時間以上」から「10時間以上」とし、補助対象事業所の範囲を拡大 ・障がい者のテレワーク雇用を検討している中小企業等に対し、アドバイザー派遣によるコンサルティング等を実施（2社） |

5. 高齢者

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|-------|--------|-----|-----|-------|--|---|---|--|
| 22 | 07 福子 | 高齢福祉課 | 04 高齢者 | | | 環境整備 | 地域ケア体制の充実 | 地域ケアシステムの中核機関として地域包括支援センターの設置・運営を推進するとともに、関係機関等と連携・協働して地域での支え合いを推進し、地域ケア体制の充実を図る。 | 市町村における地域包括支援センター設置 375か所（令和5年4月現在） 神奈川県地域包括ケア会議の開催（2回） 県保健福祉事務所地域包括ケア会議の開催（主催4回） 専門職員の市町村等派遣事業 80回 | 市町村における地域包括支援センター設置 369か所（令和6年4月現在） 神奈川県地域包括ケア会議の開催（2回） 地域包括支援センター職員研修（初任者・現任者・管理者）の実施 実績（修了者数）：初任者99名、現任者107名、管理者71名 専門職員の市町村等派遣事業 61回 |
| 23 | 07 福子 | 高齢福祉課 | 04 高齢者 | | | 教育・啓発 | 認知症に係る適切なケアの推進  | 介護保険施設などの介護職員等に対して、認知症の理解や実践的な介護技術を段階的に習得できるよう、専門研修を実施する。 | 認知症介護基礎研修の実施（全オンライン化、3,717名修了） 認知症実践者研修の実施（5回、修了者計314人） 認知症介護実践リーダー研修の実施（2回、修了者計75人） 認知症介護指導者養成研修への派遣（4人） 認知症介護指導者フォローアップ研修への派遣（2人） | 認知症介護基礎研修の実施（オンライン及び集合研修、1,893名修了） 認知症実践者研修の実施（5回、修了者計319人） 認知症介護実践リーダー研修の実施（2回、修了者計134人） 認知症介護指導者養成研修への派遣（1人） 認知症介護指導者フォローアップ研修への派遣（2人） |

6. 疾病等

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|-------------|--------|-----|-----|-------|----------------------------------|--|---|--|
| 24 | 08 健医 | 健康危機・感染症対策課 | 05 疾病等 | | | 教育・啓発 | エイズ予防に関する普及啓発 | エイズ予防に関する県民への普及啓発と正しい知識の理解を深めるため、レッドリボン運動の推進、講演会の開催等を行う。 | かながわレッドリボン賞表彰式の開催 青少年エイズ・性感染症予防講演会の開催（37回、延べ5252人参加） 啓発リーフレットの作成・配布（R5年度実績なし） | 青少年エイズ・性感染症予防講演会の開催（集計中） 啓発リーフレットの作成・配布（R6年度実績なし） |
| 25 | 08 健医 | 健康危機・感染症対策課 | 05 疾病等 | | | 教育・啓発 | 地域エイズ予防啓発事業 | 保健福祉事務所を中心とした県民参加によるシンポジウム等の開催など、地域に根ざした予防啓発事業の展開を図る。 | シンポジウム(AIDS文化フォーラム)の開催（1回、延べ3,067人参加） | シンポジウム(AIDS文化フォーラム)の開催（1回、延べ1,770人参加） |
| 26 | 08 健医 | 健康危機・感染症対策課 | 05 疾病等 | | | 教育・啓発 | 「検査普及週間」及び「世界エイズデー」における啓発イベントの開催 | エイズについての正しい知識を普及啓発するため、検査普及週間、世界エイズデーに合わせて街頭キャンペーン、検査イベント等を実施する。 | 特例HIV検査の実施（2件） キャンペーン・イベントの実施（8件） | 特例HIV検査の実施（3件） キャンペーン・イベントの実施（19件） |

7. 同和問題（部落差別）

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|------|---------|-----|-----|-------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------|-------------------|
| 27 | 15 教育 | 行政課 | 06 同和問題 | | | 教育・啓発 | 同和問題をテーマにした県立学校人権教育校内研修会の実施 | 県立学校が行う、人権教育に関わる校内研修会を支援する。 | 講話型研修会を実施（県立学校6校） | 講話型研修会を実施（県立学校6校） |

8. 外国籍県民等

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|---------|-----------|------------|-----|-------|--------------------------|---|--|--|
| 28 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 07 外国籍県民等 | 12 インターネット | | 教育・啓発 | インターネット広告によるヘイトスピーチの未然防止 | インターネット上のヘイトスピーチを未然に防止するため、差別的な単語を検索した際、「ヘイトスピーチ、許さない。」のメッセージを表示するリスティング広告掲載などに係る事業を実施する。 | ・リスティング広告を活用した啓発（Google及びYahoo!にて4カ月間で3,529,108回の広告表示および23,551回のクリック数） | ・リスティング広告を活用した啓発（Google及びYahoo!にて4カ月間で5,708,688回の広告表示および34,806回のクリック数） |

9. 貧困等

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|--------|--------|--------|-------|-------|--|--|--|--|
| 29 | 07 福子 | 子ども家庭課 | 08 貧困等 | 01 子ども | 02 女性 | 当事者支援 | ひとり親等家庭への就業支援の充実  | ひとり親等を対象とした就業相談、セミナーの開催、職業能力開発等の情報提供等のほか、職業能力開発講座を受講するひとり親等に対し、受講料の一部支給や受講中の生活費の助成等を実施する。 (おもな事業) ①母子家庭等就業・自立支援センター事業 ②母子家庭等自立支援給付金事業 | ①関係(就業支援講座等の開催) パソコン基礎講座(41日間・327人参加) 就業相談員の配置(23人) ②関係 高等職業訓練促進費等の給付(町村分)23人 | ①関係(就業支援講座等の開催) パソコン講座(42日間・258人参加) 就業相談員の配置(31人) ②関係 高等職業訓練促進費等の給付(町村分)24人 |
| 30 | 07 福子 | 子ども家庭課 | 08 貧困等 | 01 子ども | 02 女性 | 当事者支援 | ひとり親等家庭への経済的支援の充実 | ひとり親等家庭の経済的自立と生活意欲の助長を図るため、母子家庭等の母、父子家庭の父、児童又は寡婦等に対し、福祉資金の貸付や医療費の助成を行う。 (おもな事業) ①ひとり親家庭等医療費助成事業 ②母子父子寡婦福祉資金の貸付 | ①関係 ○33市町村に対して助成 ②関係 修学資金等の貸付 321件 | ①関係 ○33市町村に対して助成 ②関係 修学資金等の貸付 306件 |
| 31 | 07 福子 | 生活援護課 | 08 貧困等 | | | 当事者支援 | 生活困窮者自立相談支援事業 | 「生活困窮者自立支援法」に基づき、県内町村の生活上の困難に直面されている方に対し、地域において自立した生活が行われるよう自立相談支援を実施する。 | 生活困窮者からの相談に対して、本人が抱える課題を把握し、支援計画を作成、この支援計画に基づき、生活の安定や就労促進などの自立に向けた相談支援を実施 支援対象件数 444件 | 生活困窮者からの相談に対して、本人が抱える課題を把握し、支援計画を作成、この支援計画に基づき、生活の安定や就労促進などの自立に向けた相談支援を実施 支援対象件数 419件 |
| 32 | 09 産労 | 雇用労政課 | 08 貧困等 | | | 環境整備 | 非正規労働者、若年労働者等の雇用管理改善の促進 | 厳しい労働環境に置かれている非正規労働者、若年労働者等の労働条件の確保と雇用管理の改善に向けて、労使への啓発指導を行う。 (おもな事業) ①かながわ労働センター(本所)及び3支所(川崎・県央・湘南)における労働相談事業の一環として「労働相談強化期間」を設定し、期間内に、主に非正規労働者、若年労働者等を対象とした「特別労働相談会」、「街頭労働相談会」及び「労働相談110番」を実施 ②労働教育講座・労務管理改善のための事業所訪問において、非正規労働者等の労務管理について助言・啓発を実施 | ①関係 非正規労働者からの労働相談件数 4,072件 特別労働相談会(弁護士・カウンセラー相談の実施(8回実施、相談件数 23件)) 街頭労働相談会 1,342件 ②関係 中小企業労働環境改善個別訪問 394件 | ①関係 非正規労働者からの労働相談件数 4,124件 特別労働相談会(弁護士・カウンセラー相談の実施(9回実施、相談件数 30件)) 街頭労働相談会 1,201件 ②関係 中小企業労働環境改善個別訪問 370件 |

10. 犯罪被害者等

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|----------|-----------|-------|-------------|-------|----------------------------------|--|--|--|
| 33 | 03 安防 | くらし安全交通課 | 09 犯罪被害者等 | 02 女性 | 11 性的マイノリティ | 当事者支援 | 性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援事業 | 性犯罪・性暴力の被害者が必要ときに適切な支援を受けることができるよう、専用ホットライン「かならいん」を24時間365日運営する。(男性、LGBTsを対象とした電話相談は週1回の実施) また、面接相談、医療機関の受診、カウンセリング、法律相談、付添い支援等の直接支援も併せて実施する。 | 電話相談件数 2,571件 (うち男性・LGBTs対象相談件数 27件) 直接支援件数 205件 | 電話相談件数 2,153件 (うち男性・LGBTs対象相談件数 31件) 直接支援件数 388件 なお、令和6年7月よりLINE相談を開始した。 |
| 34 | 03 安防 | くらし安全交通課 | 09 犯罪被害者等 | | | 当事者支援 | 「かながわ犯罪被害者サポートステーション」による総合的支援の推進 | 県、県警察、民間支援団体が一体となった「かながわ犯罪被害者サポートステーション」において、犯罪被害者等からの相談に応じるとともに、様々な支援関係機関と連携して、犯罪被害者等が必要とする支援を総合的に提供する。 | 相談件数 1,291件 【内訳】 電話・面接 975件 FAX・メール等 316件 支援件数 777件 【内訳】 法律支援 162件 直接支援 456件 カウンセリング 158件 一時的な住居の提供等 1件 | 相談件数 1,611件 【内訳】 電話・面接 1,081件 FAX・メール等 530件 支援件数 1,123件 【内訳】 法律支援 170件 直接支援 671件 カウンセリング 280件 一時的な住居の提供等 2件 |

1.1. 北朝鮮当局に拉致された被害者等

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|--------|------|-----------|-----|-----|-------|-------------------------|--|---|---|
| 35 | 04 国文観 | 国際課 | 10 拉致被害者等 | | | 教育・啓発 | 拉致問題の風化防止と県民の理解促進（知事部局） | すべての拉致被害者救出に向け、拉致問題の理解促進を図るとともに、国や市町村、支援団体などと連携し、北朝鮮による拉致問題を風化させないよう啓発活動を実施する。 | 神奈川県ゆかりの特定失踪者パネル展示の実施 県内全33市町村にて47箇所で開催 「めぐみさんと家族の写真展」の開催(12/10) 映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」等上映会の開催 (12/2, 12/13, 12/15, 1/24, 2/15 計5回) 来場数計647人、YouTube再生回数計1,622回 | 「拉致問題を考える特別授業」の実施（12/13）参加者約500名 神奈川県ゆかりの特定失踪者パネル展示の実施（県内全33市町村にて57箇所で開催） 「めぐみさんと家族の写真展」の開催(12/8) 来場数約4,400名 映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」等上映会の開催 (11/13, 12/16, 2/5, 2/9) 来場数計504人、YouTube再生回数計1,622回 |

1.2. 性的マイノリティ

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|---------|-------------|--------|-----|-------|--|--|---------------|--|
| 36 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 11 性的マイノリティ | 01 子ども | | 教育・啓発 | 性的マイノリティ講師派遣事業 | 企業や学校等において性的マイノリティの方が適切な配慮を受けられるよう、講師を派遣し、研修会を実施する。 | 年10回開催 968人 | 年6回開催 244人 |
| 37 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 11 性的マイノリティ | 01 子ども | | 教育・啓発 | 児童福祉施設の職員等に対する研修会の実施 | 性的マイノリティの子どもたちが「自分らしく」成長できる環境づくりのため、児童福祉施設や県指定管理施設の職員などを対象として、性的マイノリティの当事者を講師に招聘し、研修会を実施する。 | 児童福祉施設研修会 年2回 | 児童福祉施設研修会 年2回（10月3日新任者職員向け、10月25日中堅職員向け） |
| 38 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 11 性的マイノリティ | 01 子ども | | 当事者支援 | 性的マイノリティに関する派遣型個別専門相談「かながわSOGI派遣相談」の実施 | 性的マイノリティ当事者またはその家族、当事者から相談を受けている支援者（教員、相談機関職員等）からの要望に応じ、臨床心理士など専門相談員を相談者のもとに派遣し、相談者の悩みの解決や緩和を図る。 | 相談件数 36件 | 相談件数 20件 |
| 39 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 11 性的マイノリティ | 01 子ども | | 当事者支援 | 「かながわ性的マイノリティ相談LINE」の実施 | 県内の性的マイノリティの方やその関係者等を対象に、性自認や性的指向等についての悩み、不安など、様々な相談を無料でお受けつける。 | (令和6年度新規事業) | 相談件数 311件 |

1.3. インターネット

直近のトピック

・情報流通プラットフォーム対処法施行（令和7年4月1日）

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|---------|------------|---------|-----------|-------|--------------------------|--|--|--|
| 40 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 12 インターネット | 06 同和問題 | 07 外国籍県民等 | 当事者支援 | インターネットモニタリング及び削除依頼の実施 | 県内におけるインターネットを悪用した差別事象の現状把握を行い、人権課題の解決に寄与するため、インターネット上の差別的表現をモニタリングし、その結果に基づき法務局への削除依頼を行う。（モニタリングは委託による実施） | 報告件数 同和 77件 ヘイト 661件 うち法務局への削除依頼件数 同和 19件 ヘイト 51件 | 報告件数 同和 28件 ヘイト 562件 うちプロバイダ及び法務局への削除依頼件数 同和 24件 ヘイト 187件 |
| 41 | 07 福子 | 共生推進本部室 | 12 インターネット | | | 当事者支援 | インターネット上の誹謗中傷に関する専門相談の実施 | 神奈川県弁護士会と連携し、インターネットでの誹謗中傷に悩む方からの相談を受け付け、適切な支援につなぐ。 | 月1回定期相談を実施（受付件数 22件、実施件数18件） | 月1回定期相談を実施（受付件数 21件、実施件数16件） |

14. 様々な人権課題

直近のトピック

・孤独・孤立対策推進法施行（令和6年4月1日）

| No. | 所管局 | 所管室課 | 分野 | 分野② | 分野③ | 主たる種別 | 事業名 | 事業概要 | 令和5年度取組実績 | 令和6年度取組実績 |
|-----|-------|-------|-----------------|-----|-----|-------|----------------|---|---|---|
| 42 | 07 福子 | 高齢福祉課 | 13-2 様々な人権課題 | | | 環境整備 | ケアラー支援専門員配置事業 | ケアラー・ヤングケアラーに係る各分野の相談・支援に携わる者同士のネットワーク構築や、複数の分野にまたがる等の困難事例の支援に向けた情報提供・連絡調整など、ケアラー・ヤングケアラーを地域で支える体制づくりを支援する。 | ケアラー支援専門員が講師として登壇した研修会 25回 支援制度や福祉サービス等に関する情報提供 41件 ヤングケアラー等の支援に係るコーディネート 13件 | ケアラー支援専門員が講師として登壇した研修会 27回 支援制度や福祉サービス等に関する情報提供 19件 ヤングケアラー等の支援に係るコーディネート 15件 |
| 43 | 07 福子 | 高齢福祉課 | 13-3 様々な人権課題 | | | 環境整備 | ケアラー居場所づくり支援事業 | ケアラーズカフェなどケアラー・ヤングケアラー同士の交流の場の設置を促進し、居場所づくりを進める。 | ケアラーズカフェの新たな設置等に係る経費補助 3か所 | ケアラーズカフェの新たな設置等に係る経費補助 6か所 |
| 44 | 07 福子 | 高齢福祉課 | 13-4 様々な人権課題 | | | 当事者支援 | ケアラーコールセンター事業 | 電話やSNSにより相談を受け付ける専用のワンストップ相談窓口を設置し、ヤングケアラーが気軽に悩みを相談できる体制を整える。 | 相談件数 LINE 263件 電話 52件 | 相談件数 LINE 363件 電話 54件 |